



議会だより

ハートがふれあう住民自治のまち



神河町
マスコット
キャラクター
「カーミン」

かみかわ

第 65 号

令和 2 年 10 月 9 日



長谷小学校運動会

令和元年度決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ～ 6

議案審議の様子・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 ～ 8

委員会の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 ～ 11

3人が登壇 いっぱん質問・・・・・・・・・・ 12 ～ 15

令和元年度決算認定

87億9275万円(一般会計歳出)

(一人当たり79万円)

基金(貯金)残高 34億7456万円

(一人あたり31万円)

地方債(借金)残高 133億590万円

(一人あたり1119万円)

令和元年度各会計決算認定は、議長・議会選出監査委員を除く9人の議員による決算特別委員会に付託され、9月9日、10日の2日間で審議を行いました。

令和2年度神河町一般会計補正予算(第5号)は、総務文教常任委員会に付託され、4億2259万6000円が追加されました。

対応した役場の仕事のリモート化に対する整備費、神崎総合病院事業費などの増額等について集中審議しました。

第96回定例会は、9月1日から25日までの25日間の会期で開催されました。各委員会報告、諸報告に続き、町からは報告2件、諮問2件、条例の一部改正3件、令和2年度補正予算10件、令和元年度決算認定13件の30件、また、議員から発議1件の計31件が提案されました。慎重審議の結果、いずれも原案のとおり認定、可決しました。

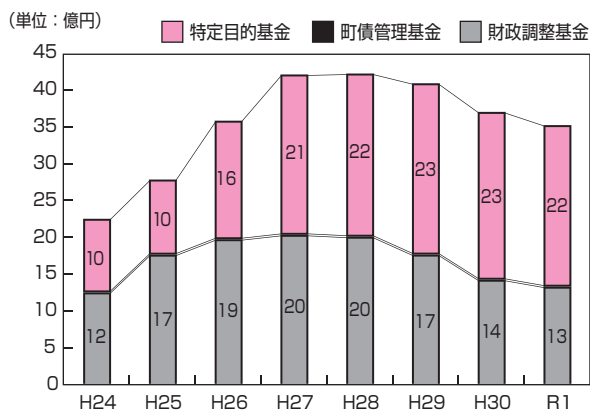
なお、決算認定では、監査委員より各会計ともに適切に処理されていることや、数項目にわたる意見が付加された報告がありました。決算特別委員会提言(6ページ参照)でも述べていますが、**監査で受けた指摘事項をしっかりと検証し、改善に向けた取組を着実に実行されたい旨を強く申し入れました。**

また、3人の議員による一般質問では、行政への提案や方向性の確認、改善点等の質疑応答が行われました。

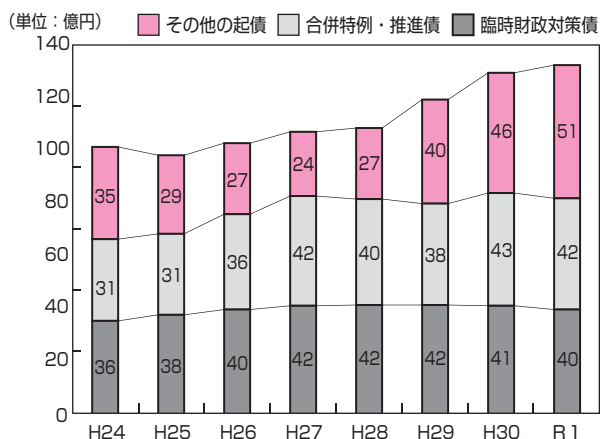
町の財政グラフ

全体の歳出は減ってきているが、借金は増加傾向、貯金は減少傾向

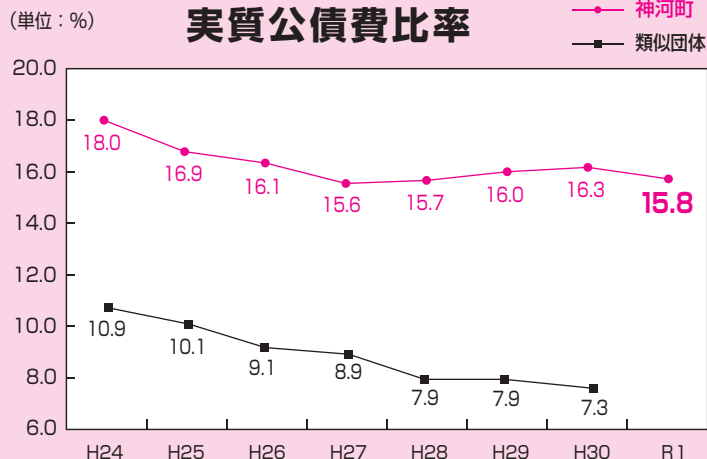
基金（貯金）の残高の推移



地方債（借金）の推移



実質公債費比率



◆実質公債費比率とは◆

税などの収入に対して借金の返済に使ったお金の割合。

◆神河町の実質公債費比率の特徴

合併による旧両町の起債残高の元金償還が多額なため、類似団体より高い水準となっている。この比率を下げるために「公債費負担適正化計画」の着実な実施により改善していたが、徐々に上昇してきた。令和元年度は一時的に減少しているが、今後もしっかりと適正管理していく必要がある。

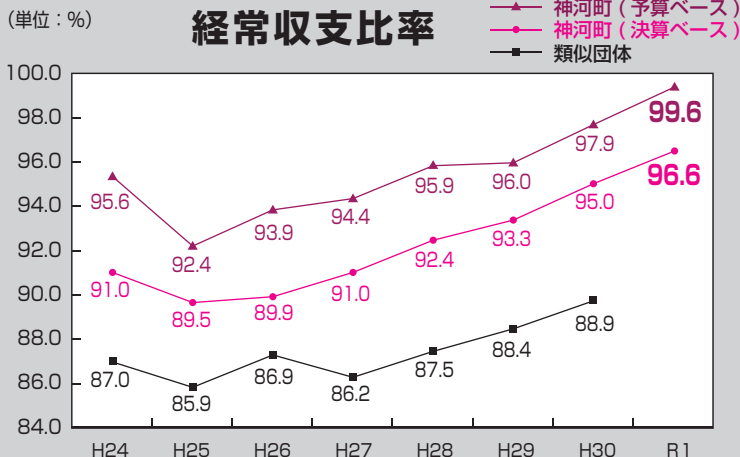
◆経常収支比率とは◆

人件費などの経常的な経費に、税金などの経常的な収入を充当している割合。比率が高いほど、自由に使えるお金が少なくなる。

◆神河町の経常収支比率の特徴

普通交付税の増加により歳入は増加しているが、それ以上に義務的経費（人件費・公債費・扶助費）及び物件費、繰出金などの歳出の増加が大きいため、比率は昨年度より上昇している。今後も町税、普通交付税の減少が予測される中、高い水準で推移していくと思われる。

経常収支比率



決算特別委員会

9月9・10日開催

主なQ&A

歳入

Q 固定資産税の収入済額は11億8126万

3000円である。昨年度決算額との比較で3488万8000円の減収である。固定資産税の約4割を占める関西電力大河内発電所の償却資産の残存価格が年々減り続けていることが要因。発電機のタービン2基の更新が令和2年度、4年度と予定されているが、固定資産税収入の見込みは。

A 令和2年4月に更新された分は令和3年1月に申告書が提出される予定で、その時点で確認ができる。

歳出

総務費

Q 地方創生推進交付金事業のアグリイノベーション推進事業で、農産物指導アドバイザー招聘等、6事業者で約900万円の支出とあるが、その成果は。

A 農産物栽培指導と販路確保、新たな農業生産技術の導入、加工品づくりにアドバイスを受けてきた。様々な作物栽培に取り組んだが、一番見込みがある作物として味が良いニンジンを加工作品に生かすことになった。

衛生費

Q 河川の水質検査結果の中で、小田原川最上流部の塩化物イオンの数値が他の河川と比べ高い。町道峰山線の冬季の塩カル散布による影響があるのではないか。

A 融雪剤（塩カル）の影響を念頭において、次年度以降の検査を行う。



Q 川遊びに来られた観光客が、ごみの不法投棄をするケースがあり、地域の方は困っておられる。不法投棄の処理はどうされているか。

A 必要な箇所には看板を設置している。悪質なものは警察と協力し相手を特定する。警察から厳重注意をしていたこともあった。観光客のモラルの低下もある。観光面から重要な課題である。警察からの指導もあり、地元の区長さんとも協議し、対処したい。

民生費

Q 縁結び事業の成果は。出会いの場を企画するときに若者の意見を聞いているか。

A 令和元年度の成果は、さくらんぼの会の元会員が2組成婚された。また、婚活イベントで成立した2組が現在も交際を継続されている。イベントに加え、マナー講座も開催している。

令和2年度は7人の若者を成婚に結びつけるために、定期的に相談員と面談を行い、若者の意見を吸い上げている。

農林水産業費

Q 民家等の周辺ではなく、道路脇にある危険木の対処方法は。

A 建設課として危険木と判断した場合、所有者に伐採をお願いするが、所有者不明等の事情がある場合は、道路管理者（町あるいは県）で伐採する。

土木費

Q 道路橋梁維持費の光熱水費で、平成30年度決算額121万8042円が令和元年度は89万3822円となっている。約30万円少なくなった要因は。

A 道路照明等のLED化で電気代が安くなった。令和2年度ですべてのLED化が完了する。

消防費

Q 防災備蓄事業で、避難所用テレビと簡易トイレを購入しているが、どこに配備、保管しているか。

A 避難所用テレビは5か所の町指定避難所に台風情報などを提供するために配備した。簡易トイレは町の備蓄倉庫に一括して保管している。

総括

Q スキー場ができたとき、他の観光施設や寺前駅前商店街などへの相乗効果を期待したが、現状と先行きは。

A ホテルリラクシアの冬場の経営対策としてスキー場を誘致した。近年のホテルの業績は非常に良く、これが一番の影響（効果）と捉えている。寺前駅前周辺にも新たな事業進出が見られ、これも効果と捉えている。

Q 新型コロナウイルスの関係で町の多くの事業が実施見送り、もしくは中止している。来年度に向けての町の方策や考え方は。

A 地域振興課関連の事業はすべて中止となった。今後は新しい生活様式を取り入れた対策を充分に行い、進めていく。
A 学校教育関係ではトライやる・ウィーク、自然学校、修学旅行など規模を縮小して実施する。

Q 令和元年度の出生者数は47人である。数年前、40人前半まで減少し、その後70人まで増加したが、再度減少傾向である。対策は。

A 定住・移住施策で若者を呼び込む。また、縁結び事業で成婚率を増やしたい。

A 子育て世帯へのアンケートの結果、2人以上を産み育てやすい環境整備として「認定こども園」「公園」等を検討している。

A 子育て世代包括支援センターを立ち上げ、妊娠・出産・子育ての不安解消に取り組んでいる。関係課との横断的なつながりも検討したい。

A 子どもを健やかに生み育てる支援金、高校生まで通院・入院が無料といった県下最高水準の医療費制度がある。また、安心して住んでいたために交通対策・防犯対策・防災対策を充実させたい。

Q 令和元年度全体で約1000万円を不納欠損処分している。このような状況を踏まえ、今後の徴収努力の考えは。

A 滞納整理委員会を年3、4回開催し、支払督促の申立などのノウハウを勉強し、差し押さえも執行している。各課の連携を強化し、適切な債権管理に努める。

Q 成人期の障がい者の就労の場の開拓について、民間事業者への支援の考え方は。

A 町内の事業所で働けないか商工会への働きかけは行っている。福本区内のいづみ福祉会のグループホームや支庁舎南側で建設中のゆめ花館の建設地を貸与している。
旧難波酒造が就労施設となったが、国県の補助金申請等について町もしっかり関わった。

土地開発事業特別会計

Q 新たな住宅分譲地の候補地を区長会に依頼されたが、結果はどうなったか。

A 5地区（中村・加納・吉富・野村・寺前）から提案をいただいている。町が考えている候補地とあわせて内部で検討して決めたい。

公立神崎総合病院事業会計

Q 公立神崎総合病院の給与費が他の公立病院と比較して高いとの説明を受けた。抑制を図るべきだ。

A 給与費が他の公立病院と比較して高いのは事実である。給与は条例に基づき適正に支給されているが、職員の高年齢化が原因である。給与に見合うだけの収益が問題だと思っている。

産業廃棄物処理事業特別会計

Q 鍛冶区内の二ガ竹処分の残りの受入れの見込みと新しい計画は。

A 処分場は満杯状態で、残り期間は1年ぐらいいと考えている。現在、現場の造成の仕上げと緑化の測量を行っており、延命の可否は測量の結果を見てからとなる。

Q 病院には以前「地域医療を守る会」が結成され、定期的に地域住民と病院幹部が意見交換をされたり、イベントにも協力されていたが、休止状態になっている。再生できないものか。

A 今後、協議を進め、お力添えをお願いしたい。

決算特別委員会提言

令和元年度神河町一般会計決算の認定にあたり、監査委員から提出された意見書に特筆された意見について重く受け止め、決算特別委員会として「決算監査や例月監査で受けた個々の指摘事項をしっかりと検証し、改善に向けた取組を具体的かつ着実に実行されたい。」旨を申し入れます。

町長答弁要旨

地方自治の本旨として「地方公共団体における民主的にして能率的な行政の確保を図るとともに、地方公共団体の健全な発達を保障する。そして、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。」と定められています。このことをしっかりと肝に銘じた上で、監査委員から述べられた意見内容について、しっかりと受け止め、引き続き財政基盤の強化と持続可能な行財政運営に向けて取り組んでまいります。

提言に対しては、事務方の責任者である副町長が、改善計画を作成し、着実に推進します。

決算に対する監査委員の主な意見

監査委員 清瀬 茂生
小寺 俊輔

令和元年度全会計について、7月6日から28日の間の6日間で各会計に対する決算審査を行い、決算計数等、いずれも法令に準拠して適切に処理されていることを認めました。

なお、下記の点について特に意見しました。

- ①契約事務を行うに当たっては、競争性、経済性、公平性及び透明性の確保に努められたい。
- ②補助金交付団体の会計処理は、要綱に基づいて適正に行うこと。あわせて各種補助金の成果を常に検証し、内容によっては補助金額の見直しも検討されたい。
- ③町内の公共施設等は老朽化が進んでいる。公共施設等総合管理計画に沿って長寿命化のための補修や更新、統廃合などを着実に進められたい。
- ④各課提出の収支見込調書の精度を高め、適正な資金運用に努められたい。
- ⑤事業の実施に当たっては、適正な予算措置を講じ、多額の不用額を計上することなく、計画性のある予算執行に努められたい。
- ⑥内部統制システムの運用の徹底を図られたい。
- ⑦町税等滞納整理委員会において、各課の連携を一層強化し、適切な債権管理に取り組み、公平性の確保に努められたい。
- ⑧不納欠損処分については、法令等の趣旨に沿って厳正に対処されたい。
- ⑨職員の健康管理面から、超過勤務が常態化しないよう適正配置や事務分掌に十分な留意を払われたい。
- ⑩学校統廃合後の跡地利活用は、方向性を早期に確立されたい。
- ⑪備品管理台帳の精度を高め、適正な財産管理に努められたい。
- ⑫各課における窓口での現金の取扱いについては、公金取扱マニュアルに基づき、事故を防止されたい。
- ⑬統一的な基準による財務書類（4表）は、作成するにとどまらず、効率的な行財政運営に活用されることを期待する。

議案審議

【報告】

令和元年度(第22期)株式会社神崎フード経営状況

第22期経営状況は、総売上15億2156万円で、前期より9393万円の増収となり、1306万円の7期連続の黒字となりました。

道の駅の「かんざき大黒茶屋」は台風などによる天候不順や新型コロナウイルスの影響で、前年度より101万円の減収となりました。

町内の従業員数は、昨年と比較して、4人増の71人です。

株主総会において利益剰余金から、一株500円の配当が初めて行われました。町は持ち株830株で41万5000円の配当となりました。

【人権擁護委員の推薦】

平成30年からお務めいただいている新弘正氏と岡部久美代氏が令和2年12月31日をもって任期満了となります。

その後任に、岡部久美代氏(再任)と松田隆幸氏を推薦したい旨の提案があり、両名とも「適任者である」と意見を付しました。任期は令和3年1月1日から3年間です。



松田 隆幸 氏(福本)



岡部 久美代 氏(本村)

【条例の一部改正】

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

放課後児童支援員(学童保育クラブ指導員)は県知事が行う研修を修了したものでなければならぬと規定されていましたが、県知事のほか、政令指定都市又は中核市の長が行う研修を修了したのも支援員になることができるようにするものです。

【補正予算】

一般会計(第5号)

歳入歳出それぞれ4億2259万6000円を追加し、歳入歳出予算の総額を101億5415万8000円とするものです。

歳入の主なものは、普通交付税2億4724万7000円の増、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億1098万4000円の増などです。



リモート体操教室

介護保険事業

特別会計(第2号)

新型コロナウイルス感染症対策として、自宅でも取り組める体操などを紹介する動画や小冊子・リーフレットの作成経費等を増額するものです。

歳入の主なものは、公立神崎総合病院事業会計補助金1億4000万円、行政IT化整備事業や農林業スマート化事業を中心とした1億1044万4000円の増などです。

意見書の提出

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いています。

この中で、地方税・地方交付税の大幅な減少により、今後の地方財政はかつてない厳しい状況になることが予想されます。

このような状況において、地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくために、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実に国を求めるものです。

全会一致で採択し、神河町議会として国へ意見書を提出することに決定しました。

議案等の審議結果

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆

報告番号	件名
第 6 号	令和元年度(第22期)株式会社神崎フード経営状況報告の件
第 7 号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告の件

諮問番号	件名
第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める件
第 2 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める件

議案番号	件名
第 6 5 号	神河町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第 6 6 号	神河町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第 6 7 号	神河町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第 6 8 号	令和2年度神河町一般会計補正予算(第5号)
第 6 9 号	令和2年度神河町介護療育支援事業特別会計補正予算(第2号)
第 7 0 号	令和2年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
第 7 1 号	令和2年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
第 7 2 号	令和2年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
第 7 3 号	令和2年度神河町土地開発事業特別会計補正予算(第1号)
第 7 4 号	令和2年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算(第2号)
第 7 5 号	令和2年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計補正予算(第1号)
第 7 6 号	令和2年度神河町水道事業会計補正予算(第2号)
第 7 7 号	令和2年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第2号)
第 7 8 号	令和元年度神河町一般会計歳入歳出決算認定の件
第 7 9 号	令和元年度神河町介護療育支援事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 8 0 号	令和元年度神河町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 8 1 号	令和元年度神河町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 8 2 号	令和元年度神河町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 8 3 号	令和元年度神河町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 8 4 号	令和元年度神河町訪問看護事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 8 5 号	令和元年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 8 6 号	令和元年度神河町寺前地区振興基金特別会計歳入歳出決算認定の件
第 8 7 号	令和元年度神河町長谷地区振興基金特別会計歳入歳出決算認定の件
第 8 8 号	令和元年度神河町水道事業会計決算認定の件
第 8 9 号	令和元年度神河町下水道事業会計決算認定の件
第 9 0 号	令和元年度公立神崎総合病院事業会計決算認定の件

発議番号	件名
第 4 号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

委員会の活動

3か月ごとに、各事業の進捗状況と重要事業の調査をしています。

総務文教

8月18日開催

教育課

学校給食センターで、給食への異物混入が、6月7月に6件発生しています。センターの不注意によるものが1件、他の5件は委託業者によるものです。2件混入があった委託業者の立入検査を行い、改善計画を提出させたと報告を受けました。

Q 神崎公民館と体育センターについて、公共施設等総合管理計画では、合併して町に二つある施設を一つにするのが大きな方針だった。トップが早く方針を決めるべきでは。

町の方針は、栗賀小学校跡地の活用について、基本的には住民要望が多い公園整備、図書館建設を前提とする。また、地域の賑わいづくりを創出してもらえる事業者を公募する。神崎公民館と体育センターは廃止する。不足する機能は、他の施設での利用を確保する計画である。

A 町の方針は、栗賀小学校跡地の活用について、基本的には住民要望が多い公園整備、図書館建設を前提とする。また、地域の賑わいづくりを創出してもらえる事業者を公募する。神崎公民館と体育センターは廃止する。不足する機能は、他の施設での利用を確保する計画である。

この内容を8月11日に地元で説明した。地元からは、公園や図書館の必要性、また両施設の廃止の時期などのほか、多くの意見や質問が出されたが、しっかりと答えた。栗賀小学校跡地利活用の事業者公募要項ができた第、地元で説明する。

Q 旧大山小学校解体工事のスケジュールは、7月29日の再入札で、解体撤去工事設計業務の業者が決まった。業者と協議した結果、工事の発注は10月になる見通しであり、年度内に完成できるように進める。

A 7月29日の再入札で、解体撤去工事設計業務の業者が決まった。業者と協議した結果、工事の発注は10月になる見通しであり、年度内に完成できるように進める。

町の方針は、栗賀小学校跡地の活用について、基本的には住民要望が多い公園整備、図書館建設を前提とする。また、地域の賑わいづくりを創出してもらえる事業者を公募する。神崎公民館と体育センターは廃止する。不足する機能は、他の施設での利用を確保する計画である。

税務課

収納率向上のために取り組んでいる口座振替の令和元年度収納率は45.4%で、県下12町中、5番目です。コンビニ収納は、前年度と比較して大幅に増えています。

5月は滞納税の徴収強化月間であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問徴収をすることができなかった。滞納者の在宅時間を見計らって、電話により納付催告をしたと報告を受けました。

令和2年7月末の現金等保管総額は53億3192万8129円です。

会計課

令和2年7月末の現金等保管総額は53億3192万8129円です。

新型コロナウイルス感染症対策に係る経費の増高を予測して、一時借入金

の限度額を増額しましたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の概算交付を受けたことなどにより、7月末現在では一時借入れ

は行っていない。一方、一時預貯金額は6億円となっています。

総務課

新型コロナウイルス感染症対策として、区長会で協議され、消毒液、マスク、ウェットティッシュ、ブルーシート、非接触体温計などの衛生用品セットを、各区公民館に8月5日に配付したと報告を受けました。

Q 新型コロナウイルス感染症の対策レベルの現状は。

A 3月時点では、どのような病気であるかが分からなかった。新型コロナウイルス感染症対策マニュアルに基づいて対応した。その後、県内発生、管内発生に応じてレベルを上げていく。

今、国は経済活動を行いながら、新型コロナウイルスと闘う方針である。大切なのは、一人ひとりが生活を営みながら、①マスクをする。②手洗

いをする。③うがいをする。④3密を避ける。などの対策をしっかりと守ることであり、ウィズコロナでいく方向に変わってきている。



Q 新型コロナウイルス感染症対策に関する町民への情報発信の中心で抜けている部分がある。つまり、デマやうわさに惑わされることなく、誹謗中傷を厳に慎むことを、伝えなければならぬ。

A 今後は、そのような視点をしっかりと持ちたい。個人情報保護、人権尊重の立場から、これから町職員が町民を守るという立場で、呼びかけていきたい。

民生福祉

8月11日開催

← 公立神崎総合病院

Q 病院経営の現状とその改善策は。

A ここ数年来の経営環境の悪化に加えてコロナ禍が押し寄せ、資金繰りの逼迫状況が露呈した。各々の「業務量の1割アップ」を合言葉に職員一同頑張っているが、管理不足による人件費の高騰と、職員の意識の甘さを課題として感じている。職員組合とも協議し、全面協力の約束をもらっている。今後、患者の確保策や営業方策を具体的に検討していく。また、経営再建には住民の参画も必須であり、新任医師の得意手技などのこまめな情報提供の媒体を検討しなければならない。

Q 病院の設置者として、町はどう考えるか。

A これまで、経営形態について議論をして

きたが、新しく事務長を迎えて、まずは経営改善である。民営化も含めた経営形態の変更は、その後の課題であると考えている。

町長を本部長として、改善対策本部を立ち上げ、最前線に立って経営改善を図っていく。

Q 現状について病院職員の危機意識は。

A 今までは、全職員に経営状況を詳しく説明できていなかった。職員説明会で、危機的状況にあることは伝わったと思う。これから、具体的な対策についての理解を得ながら進めていけるかに掛かっている。

← 健康福祉課

Q 新型コロナウイルス感染症対策で普及を目指す追跡システムとは。

A 国の接触アプリは感染者が感染登録をするが、兵庫県版では公的機関が陽性者を登録するという違いがあり、今般

普及を図るのは県版システムである。本庁、支庁舎、公民館などに貼つてあるQRコードを読み取ると、その施設に行ったという記録が県に送られる。陽性者が当該施設に行ったことが判明次第、県は往訪者全員に連絡、注意喚起を行う。

町内の施設や飲食店などにもQRコードを貼ってもらうようお願いしたい。かつ、多くの町民に登録していただくよう普及啓発に努めたい。

Q 母子健康手帳アプリを導入することだが。

A 母子手帳は今までもおり交付する。アプリは希望者のみの登録となり、健康福祉課から予防接種の案内や赤ちゃんの相談事業等の情報発信を行う。



← 住民生活課

Q 次期ごみ処理施設の進捗状況は。

A 地元説明会では、反対意見も出されるが、合意への前向きな質問や意見をいただいている。

段階を踏み、何とか今年中に同意を得られるよう取り組んでいきたい。

Q 防災行政無線運営事業で、不具合に備えての外部アンテナ設置委託料は今後も予算措置するのか。

A 現在、良好に受信できていても、家屋内の電気製品や配線、屋外の電線等からのノイズにより不具合が生じてくるケースもあるので、全て解決とはならない。よって、今後も一定の予算措置は必要と考えている。

Q 消防自動車3台にドライブレコーダーを設置することだが、各分団配備の全ての消防自動車に装備する計画か。

A そのとおり。今回の3台は未設置であった車に装備するものである。

← 上下水道課

Q 気温と漏水発生因果関係は。

A 水道管は、温度変化10度で1m当たり0.7mmの伸縮があると言われていた。また、老朽化で管路が動いて石に当たると、その箇所が経年で穴が開いて漏水する。特に、夏場と冬場が多く、春秋は安定している。

新しい材料は耐震性もあり、伸縮を抑制するよう工夫されている。本管は町内全域で約200kmの総延長となっており、敷設後40年以上経過しているものから随時更新している。財政上の制約で毎年2km前後の更新にとどまっている。

産業建設

8月6日開催

建設課

橋梁長寿命化修繕事業の進捗状況について、観音橋（中村）と深沢橋（越知）は工事が完了し、段床橋（吉富）と大山橋（杉）は9月30日完了予定です。栗橋（栗）、石風呂橋（作畑）は、予算の関係上先送りとします。

Q 栗橋と石風呂橋を予算の関係上先送りにするということが、6橋とも繰越工事ではないのか。

A この度の繰越部分は、橋梁名を出さずに、判定3の橋梁が4橋、判定2の橋梁が2橋という形で申請している。特に、判定3の橋を優先で進めており、判定2の橋は、申請を取り下げ、その分の予算を判定3の4橋に割り振る変更申請を行っている。

地籍課

Q 現場での安全管理の状況は。

A 危機管理マニュアルを順守し、現地調査を行っている。今年度、新たな取組として、1点目は、IP無線機の導入で、携帯電話では受信が不安定であった山の谷間等でも、より安定した受信ができるようになり、迅速な連絡体制が確保された。

2点目は、事故発生時の応急処置について、中播消防で救急講習を受け、心肺蘇生法、応急処置法、熱中症の対処法の指導を受けた。

3点目は、冷却スプレーなどの熱中症対策資材を配備した。



救急講習の様子

地域振興課

《農林業係》
林産物の有効活用

ウリハダカエデのメイプルシロップは販売に向け、道の駅アンテナショップが食品検査を実施しています。

《商工観光係》

令和2年度の観光施設の入込状況は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月7日に緊急事態宣言が発令されてから、5月21日の解除まで、自主的な休業または町からの休業要請に応じていただいたことなども大きく影響し、特に4月5月は、前年同月と比較すると約25%と大きく減少しています。しかし、6月になると65%と少しではありますが、回復の兆しが見えてきています。元気回復支援金の交付状況は、8月6日現在で、個人事業者（15万円）202件、法人（30万円）79件となっています。

ひとまち・みらい課

【アグリイノベーション事業】

作畑のイチゴハウスの復旧について、7月21日にアグリイノベーション神河（株）から報告があり、日立トリプルウィン（株）の責任の下、復旧に取り組みを確認しました。8月に着工し、12月に完成する予定です。

Q 8月から着工するということで、地主さんには報告ができていますのか。

また、前回の二の舞にならないよう、しっかりとしたハウスができるのか。

A 地主さんには、逐一経過を報告している。現場は、実績のある大手業者が施工すると伺っている。

また、特に問題となつた基礎部分は、しっかりとした基礎を入れて、もう1回やり直したいと考えている。

【貸工場整備事業】

Q 来年度から稼働となるが、従業員の雇用は何人くらいになるのか。

A 雇用計画では、正規職員2人と、臨時職員3人でスタートし、2年後には臨時職員を1人増やし、更に4年後には1人増やしていく。

最終予定としては、正規職員2人と臨時職員6人といった事業規模で実施したいと聞いている。その中で、正規職員1人と臨時職員6人は、地元雇用を計画されている。



建設中の貸工場

みなさんの **声** を 町政に

一般質問 は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は3人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項	ケーブルテレビ 再放送日
13	吉岡 嘉宏 議員	①これまでの一般質問の提案事項の進捗について (銀の馬車道美術展・副食費の無料化) ②街路灯、防犯灯の維持管理について	11月3日(火) 午後7:00~
14	栗原 廣哉 議員	①小学生等の安心安全な通学 ②人事評価制度	11月3日(火) 午後8:00~
15	小島 義次 議員	①中学校へのスマホ持ち込みは ②神河町の資源を活用した一次産業の充実を	11月4日(水) 午後7:00~

※この日程は変更となる場合があります

11月
6日(金) 産業建設常任委員会
12日(木) 民生福祉常任委員会
18日(水) 総務文教常任委員会

12月
2日(水) 議会運営委員会
8日(火) 第97回定例会
(提案・質疑等)
10日(木) 総務文教常任委員会
(付託議案)
16日(水)~17日(木)
定例会(一般質問)
22日(火) 定例会最終日(採決)

主な議会日程

本会議等の傍聴について

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、しばらくの間、本会議等の傍聴については、できる限りお控えいただくようお願いいたします。

皆さまの御理解と御協力をお願いいたします。

◎銀の馬車道美術展開催の働きかけは怎么样了

◎幼稚園、保育所の副食費(おかず代)無料化は怎么样了

◎街路灯、防犯灯の維持管理について



吉岡 嘉宏 議員

◎銀の馬車道美術展開催の提案をしたが、中播磨県民センター等への働きかけはどうなった

Q 銀の馬車道沿いには生野町の三巨匠(青山熊治、白瀧幾之助、和田三造) 神河町の橋本寛海、福崎町の松岡映久などの素晴らしい芸術作品が残されている。これらを開係6市町で美術展とし開催し、住民、観光客に鑑賞してもらい、銀の馬車道のPRと各市町の文化度を高めたらどうかと昨年6月議会で提案したが、その後の取組状況は。

A 町長 中播磨管内事務局協議を行ったが、3年間の文化庁補助金が昨年で終了しており、限られた財源の中で開催は現実的ではないという結果となった。

Q 郡内の美術品コレクターでミニ美術展を開催したい旨の話がある。その際は会場提供の協力をお願いしたい。

A 教育長 承知した。

◎幼稚園、保育所の副食代(おかず代)無料化の提案をしたが、どうなった。コロナ禍の今、子育て世帯に対し、1年間だけでも実施できないか

Q 県内5市町が副食費あるいは主食費(ごはん又はパン)を無料化されている。神河町で必要な経費は年間255万円である。令和元年度の出生者数は47人で少子化が進んでいる。子育て支援として取り組むべきではないか。また、子ども・子育て会議での議論はどうなったか。

A 町長 子ども・子育て会議では副食費負担の不満は聞いておらず、現行のままをしたい。

◎街路灯、防犯灯の維持管理について

Q 県道、通学路、バスの路線など公益的な意味合いの強い路線に設置する街路灯・防犯灯の設置と維持管理は町でできないものか。

現在、防犯灯は町管理と区管理の2種類があるが、その違いの内容と基数についてお尋ねする。

A 住民生活課長 2町合併の際の事務協議で、住居のあるエリアは区管理、集落間の住居のない区間は町管理とした。集落管理は1734基、町管理は196基である。

Q 住民要望を2件聞いている。①寺前駅から(株)タイワまでの県道東側が暗く、転落しそうになったと聞いている。寺前区と鍛冶区の境界であるので、町で設置と維持管理すべきと思うかどうか。

A 住民生活課長 現地調査を行い、設置基準により判断する。

Q ②柏尾区内の県道沿いであるが、街路灯・防犯灯とも県道の南側に設置しており、歩道を夜間歩いてみたが、照度が低い。極端に暗いエリアが3か所あった。自転車通学路でもあり、街路灯が防犯灯を3基程度設置できないか。

未来の神河町を背負う人材である。安全対策をしつかりしてほしい。

A 教育課長 自転車通学の中学生全員にアンケートを取ったが、暗くて困るという意見はゼロであった。

Q 私は薄暮時と夜半の2回に分けて歩行したが、実際暗いと感じた。照度の確保は法的にできているのか。

A 建設課長 3ルクスの照度は必要である。現地調査をし、対応を考えたい。

神河町における小学生等の 安心安全な通学を



栗原 廣哉 議員

教育長

今後は、距離を目安にした検討だけでなく、安全面や体力面など多角的に、また、総合的に検討し、より良い方策を探っていきたい

Q 熱中症対策として、下校時にマイクロバス等を行なった状況は。

A 教育長 対象の人数は、神崎小学校66人、寺前小学校34人、長谷小学校6人で、マイクロバス2台（長谷小学校は教師運転のワゴン車）で運行した。

Q 通学距離が概ね3キロ以上の児童を対象に運行した結果、良かったところ、悪かったところは。

A 教育課長 良かった点は、午後1時30分下校にしたので、熱中症対策ができ、保護者の方からも「ありがたかった」という意見もいただいている。

悪かった点は、バスの運行上、登校時の運行ができなかったことと、送迎バスの台数不足である。

Q スクールバスの運用を教育課だけでなく、ひと・まち・みらい課、そして役場全体で考える

必要があるのではないかと

A 教育課長 教育課として、まずはバス利用生徒をどこまで増やすかという基本的な部分を決定する。ひと・まち・みらい課との協議も行っていくたい。

Q 神河町コミュニティバス運行計画検討委員会の開催状況は。

A ひと・まち・みらい課長 最近1年間は、開催できていない。これまでの開催回数は把握していないが、必要に応じて会議を開催し、コミュニティバスの運行に係る協議を行っている。

Q この委員会の目的に「通勤・通学の移動手段としての町内コミュニティバスの柔軟な運行のあり方を検討する」ということがある。スクールバスとの併用も考えてみてはどうか。

A ひと・まち・みらい課長 検討していくべき課題であると思っている。

神河町における

人事評価制度

Q 人事評価とは。

A 総務課長 住民のニーズにしっかりと応えていくための一つの手段である。

Q 神河町において、人事評価制度は動いているのか。実際に期末・勤勉手当、昇給に反映しているのか。

A 総務課長 制度としては、しっかり制定して活用している。

Q 総務文教常任委員会の中で、「現実問題として、評価者は被評価者に対し、忙しくて正しく見ることができない現実がある」との記載があるが。

A 総務課長 研修で学んだことを、議会の中で報告したものである。

Q 神崎病院での人事評価制度はどのようになっているか。

A 病院特命参事 役場の運用に準じて、会計年度任用職員も含めて取り組んでいる。ただ、医師については取り組みがない。

Q 若い人材を育成するという信念で、人事評価を行えばどうか。

A 総務課長 しっかりと若者育成のために活用していく。

また、育成しようと思うと、評価者もしっかりと成長していくことが必要なので、このことを肝に銘じて頑張りたい。

ひとこと

住民の目線に立った疑問を質問に取り入れていきますので、色々な意見をお聞かせください。

神河町の資源を活用した 一次産業の充実を!



小島 義次 議員

町長

森林環境譲与税を効果的に活用するための
環境整備、森林施設の充実は不可欠である

- Q** 鳥獣（熊）被害の防止で住民や生産者が安心できる対策を。
- A** 町長 今後も注意喚起の継続や必要な対策を行っていく。
- A** 森林業特命参事 防災無線、防災ネットによる注意喚起を行い、熊等との遭遇時の対応、果実等餌になるものの除去を周知する。
- Q** 森林資源を活用した施策や、その生産高の割合はどのくらいか。
- A** 森林業特命参事 ミツマタの原木を約24トン出荷している。間伐材は製材用・合板加工用・燃料用として供給している。町林業費の支出総額は令和元年度決算では約1億1800万円で、農林業施策の21.6%。国県事業費は約3億3400万円となっており、本町の事業費より多い。また町内の針葉樹の素材生産高は県下で第3位、県下総生産量の8.8%である。
- Q** 今後の基幹産業としての木材の活用は、どのように伸ばすのか。
- A** 町長 天然素材である木で地域の人が作ったものを使うという価値観に変えていくこと、オーダーメイドの木製品を使い、木の良さを身近に感じられる空間にしていくなど、木材需要拡大の具体化が必要。そのために乾燥設備、加工施設等の環境改善に「森林環境譲与税」を活用し、研究を進めていきたい。
- Q** 森林環境教育を予算化も含めて推進してはどうか。
- A** 町長 町内の児童生徒に対しては、将来森林管理に携わる可能性もあり、非常に有意義である。都市部の児童生徒に対しては「場（フィールド）」と「プログラム」の提供で施設の利用促進や関係人口の拡大に魅力がある。林野庁から提示されるプログラムに沿って研究を進めたい。
- Q** 昨年7月の西栗倉村の視察結果として、神河町で実施可能な事業や方向性は。
- A** 町長 「民間の多様性が発揮できる環境づくり」に取り組みされた結果が「人が人を呼び込む町づくり」につながったと感じている。交流による様々な可能性を探求することがまちづくりの基本であると再認識した。1次産業の活性化・森林資源の活用は当町として無限の可能性を秘めた大切な財産でもあり、各種事業展開を行っている。
- Q** 中学校へのスマホの持ち込みは
- A** 中学生の家庭での使用実態は。
- A** 教育長 家庭で使用する生徒は88%、本人所有は50%強である。
- Q** 保護者要望の程度は。
- A** 教育長 保護者から持ち込みの要望はほとんど無い。

ひとこと

神河町の宝を
どんどん活用
しましょう。

- Q** 文科省の4条件と今後の方向性は。
- A** 教育長 4条件とは①学校での管理方法と紛失時の責任の明確化。②学校や家庭による危険性の指導。③学校と生徒らが協力したルール策定。④閲覧対象を制限する「フィルタリング」を保護者の責任で設定。学校と生徒・保護者間でこの4条件について合意がなされ、必要な環境の整備や措置が講じられている場合持ち込みを認める。（文科省通知）この通知を踏まえて検討し、適切な方針を出していきたい。

まちかど

インタビュー

第2回



取材日：9月18日

第2回は神河町杉で健康食、スイーツの店「昔ごはんとおやつの間 楽や（たのしや）」を営んでおられる高橋陽子さんにお話を伺いました。

自己紹介をお願いします

姫路市で生まれ育ちました。20年ほど前、食物アレルギーをお持ちのお子さんと出会い、今までケーキを食べたことがないという話を聞いたことが今の「楽や」へとつながる分岐点となりました。



高橋 陽子さん

移住者から見られた神河町の良さと改善すべきところをお聞かせください

良さとしては「受け入れて下さる温かさ。」改善点はその寛大さからくる慣れ、諦めがあるように思います。なくなっていく茶畑や学校に、なくならないでほしいという思いが多く集まれば、何かが変わるのではないかと期待します。

町は「交流から定住」をキャッチフレーズに住宅支援策等の取組を進めていますが、定住者を増やすためのご意見があればお聞かせください

「一度来たたらまた来たくなる、一度出会うとま

た会いたくなる。」この町と人の魅力を実際に体感してもらえら結び目を、公のイベントだけでなく日々の暮らしの中で体感できる仕組みがあればいいと思います。



町や町議会への要望をお願いします

町に移住してきて、この町のことを考え動いておられる方々と交流できる場があり、その温度を直に感じられる機会があることに驚きました。また、移住者交流会、町の盛沢山のイベントなどで地域の方と普通に話が出来る場がたくさんあります。地元の方には普通のことでも私には嬉しい驚きです。ずっと感じ続けさせてください。

あとがき

3月に県内で初感染のあった新型コロナウイルス感染症は、秋になっても終息せず、マスクを着けない日は一日もない。

今夏は三密を避けるためか町内のキャンプ場や河川には大勢のお客さんがつめかけた。また、移住相談が昨年の7倍となっている。東京一極集中から空気と水がきれいな田舎が見直されてきている証ではないだろうか。

これまでも神河町は交流人口から関係人口を増やし定住人口増の取組を行ってきたが、コロナ禍の今、積極的な情報発信で転入者増に結び付けたいものである。（Y・Y）

広報公聴活動調査

特別委員会

委員長	小島 義次
副委員長	吉岡 嘉宏
委員	藤原 日順
委員	藤森 正晴
委員	栗原 廣哉
委員	澤田 俊一